

2025年12月10日（水）
葛飾区公開保育を通じた学び合い等支援事業
うらら保育園 ECEQ 公開保育



社会福祉法人 清遊の家

うらら保育園

〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩3-37-27

[TEL:03-3696-2637](tel:03-3696-2637)

<保育理念>

- ・自らを生き 共に生きる
- ・美しくすこやかに育む それは愛があつてこそできる

<うらの素地>

流線形に想いを馳せる
風が運ぶ香りで季節を感じる
心の写真に焼き付いている色がある
雲の上には雷様がいて信じていた
胎児だったころの記憶があるような気がする
目に見えないものを信じられますか？



かたちから温度(ぬくもり)を感じますか？
においで味がわかりますか？
色から幼い頃の情景が浮かびますか？
音から自然界の不思議を探ることができますか？
さわり心地で心が動きますか？

人も自分も傷つけない 命をつなぐ
人生いろいろあるけど まっ 幸せか…

一人ひとりの「幸せ感」の体得を願う 保育園は人生の土壌
好き・嫌い・気持ちいい・気持ち悪い・得意・苦手
…子ども自らが感じてうつすら自覚する
与えられた経験知(値)では、自分の「本当」にならない
自分らしく生きる 社会の中で

自らを生き そして 共に生きる

本日もうららかなり

～本日の流れ～

9:30	受付開始	受付後はホールにてお待ちください
9:45	開会（ホールにて）	・開会あいさつ ・主催者挨拶 ・実施園挨拶
9:55	オリエンテーション	・コーディネーター紹介 ・公開保育説明 ・ECCEQについて ・本日のスケジュール ・保育見学の仕方 ・「問い」について
10:10	諸連絡	
10:15	保育見学	園舎内・園庭ともに保育の様子を自由にご覧ください
11:45	参加者昼休憩	※フィードバック検討
13:15	分科会	各会場（和室）で行います
14:45	15分休憩	
15:00	全体会	
15:40	実施園挨拶 閉会挨拶	
15:45	閉会	

～注意事項～

- ・受付でお渡しした名札をご着用ください。
- ・貴重品は各自お持ちください。大きな荷物はホールに置いていただけます。
- ・昼食、休憩はホールでおとりください。
子どもたちは順次午睡に入ります。休憩時間帯には保育室へは入らないでください。
また、老人施設への立ち入りもご遠慮ください。
- ・保育中の撮影はご遠慮ください。施設内の撮影のみ可能とさせていただきます。
- ・園庭、園舎内はご自由に見学ください。
靴の履き替えはご持参の靴袋をご使用ください。
- ・トイレは、うらら保育園園舎内（2カ所）ホール（3カ所）をご利用ください。
- ・災害時や緊急事態の際には、うらら保育園の指示に従って行動してください。

～うらら保育園のくらし～

《タイムスケジュール》 ※目安です

時間	○歳児 授乳期	○歳児 離乳食期	○歳児 移行期・ 幼児食期
AM 7:00～	順次登園		
8:30～	検温・朝寝		
9:00～	あそび		
9:45～	水分補給		AMおやつ
10:00～	室内遊び・外気浴	戸外遊び・散歩	戸外遊び・散歩
10:30～	授乳	離乳食・授乳	
11:30～	順次お昼寝・検温		昼食・歯磨き
12:00～			順次お昼寝・検温
14:30～	授乳	離乳食・授乳	PMおやつ
15:00～			
15:30～	室内遊び・散歩		
16:30～	水分補給・夕寝		水分補給
17:00～	室内遊び・順次降園		
18:00～			延長保育（ゆるりの時間） ＊1歳の誕生日より利用可能
18:30～			軽食
～20:00			遊び～順次降園

※このデイリーは、目安です。特に、0歳児については、個人差があります。

《各年齢のこだわり》

0歳児～すくすく組～

ねむい、おなかすいた、だっこして、など色々な欲求が、保育者との安心した関係の中で満たされていきます。ひとりひとりのペースを大切にしながら、生活リズムが作られ、身近な大人とゆっくりのんびり触れ合いながら心地よさを体感します。

1歳児～のびのび組～

興味の世界が広がり、何でも「ジブンデ」やってみようと挑戦する毎日。自分という自我がぐんぐん芽生えていく中で、友達との思いのぶつかり合いも増えていきます。ぐちゃぐちゃの感覚を思う存分経験する中で、自らの内面も開放していきます。

2歳児～いきいき組～

好奇心がぐんぐん広がります。自分達の保育室を拠点に、うらら中に探索へ出掛け、とことん遊び、気持ち満たされると、空腹を抱えて自ら「ただいまー」と戻ってきます。自分の居場所（クラス）が分かる安心感が、子供達の事象への探究心を高め、意欲的な活動へ繋がっていきます。

時間	1 歳児 のびのび組	2 歳児 いきいき組	3～5 歳児・幼児三家
7:00～	順次登園・視診 ～あそび～		
8:30～			
9:00～			
9:45～	朝おやつ		
10:00～	あそび・園外散歩など		
10:30～			
11:45～	昼食・着替え		12:00～昼食
12:30～			
13:30～	午睡		午睡・体を休める 順次遊び 目覚め
14:00～			
14:30～	目覚め		
15:00～			
15:15～	おやつ		
15:45～	あそび・園庭あそびなど		
17:00～	室内あそび・順次降園		
18:00～	延長保育（ゆるりの時間）		
18:30～	軽食		
～20:00	あそび・順次降園		

3・4・5歳児～幼児三家～

各年齢数名ずつが集まったクラス（家族）が3つあります。それぞれ担任の苗字がクラス名になり、担任は昼間の母ちゃん・父ちゃんの役割で、子ども達と共に生活を営んでいきます。手間隙かけること、面倒くさいことを大切にしてきた“昔ながらの下町長屋の子沢山な暮らし”のような近所付き合いもあり、様々な生活体験を通じて家族の絆や異年齢のきょうだいの関わりを深め、様々な価値観に触れ、ひとりひとりの心地よい過ごしを探ります。

3歳児

身近な大人に心から受け止められることで、思いきり自分を楽しむ姿が見られます。イメージの世界の広がりと共にごっこ遊びを楽しむ子ども達は、身の周りのことにも興味が増し、少しずつ自分で出来ることが増えていきます。

4歳児

仲間が存在が大きくなり、気の合う友達と共に過ごす楽しさを存分に味わいます。イメージの世界がよりリアルで本格的になると、大人のお手伝いを好み、生活の見通しを立てて行動していきます。

5歳児

友達との絆が深まり、自分の思いを主張するだけでなく、仲間の中にいる自分の存在にも気付き、協調する心が育ちます。暮らしの中でルールを守りながら、自分達で生活を作り出して

< 出会いの保育について >



子どもを真ん中に 暮らしを紡ぎ

安心の“場”“輪”が繋がってゆくことを願って…

これまでうらら保育園では入園してから平日、5日間程度でお子さんや保護者の方が保育園に慣れていただく時間を“慣れ保育”※という呼び名で、約1週間を過ごしていました。

時代は令和になり、今、保育教育業界で盛んに研究されていることが“主体性”という言葉です。子どもにとって主体性とは何か、子どもが主体的に保育活動ができる保育とはどういうことなのか、ということを全国的に保育園も教育施設も追及しているところです。うらら保育園でも1人1人を大切に、1人1人の主体性を尊重するという言葉を掲げながら“子どもの主体性ってなんだろう？”ということを考える職員集団であり続けたいと思っています。そこで保育の中で使う言葉にも1つ1つこだわりを持ちながら、うらら保育園の運営をしています。

上記を踏まえ“慣れ保育”という呼び名を、令和5年度からは“出会いの保育”という呼び名に変更いたします。保護者にも入園してくるお子さんにも、そして私たち保育者もお互いうららで出会い、互いが慣れていくという想いを込めました。これまでの方法は、保護者と園児が登園してきて、保護者と子どもが離れる時間を徐々にのばしていくというやり方をしていましたが、“出会いの保育”では保護者と入園したお子さんが、まず、その該当クラスに入室していただき、保護者とお子さんと保育士と一緒に過ごしなが、慣れていただこうと考えています。

お家では、どのようにお母さん・お父さん、また養育者がお子さんに授乳をしたり、離乳食を食べさせていたり、寝かしつけをしているのか等、保育士も保護者の方から教えていただきながら、子どもを真ん中にし、暮らしてゆくという時間にしたいと思っています。

※“慣れ保育”

その前の昭和の時代は、保育園のやり方にお子さんや保護者を“慣れさせる”ということで、“慣らし保育”という言葉が使われていました。今でも、多くの保育園で“慣らし保育”という言葉を使っているのですが、それは子どもや保護者の方にとって、私たち保育園のやり方にお子さんの育ちを慣らしさせるということになります。うらら保育園の方針としては、昭和から平成に変わる時に“慣らし保育”ではなく、“慣れ保育”という言葉を使うようにしました。

— 食 —



うらら保育園保育内容

<うららのこだわり>

木や布、紙を主体とする玩具環境。砂や泥・土・水を豊かに取り入れた戸外遊び。
手作り調味料・低農薬野菜などのからだに優しい食の提供。様々な素材を使った表現
活動・創造活動を大切にしています。

丸い卓袱台（ちゃぶだい）

家族（クラス）の団欒や食事など、卓袱台を皆で囲むひと時を大切にしています。丸い形は、座る場所も、人数も、座り方も、思いのままに変化します。「もの」が伝える関係性や距離感を暮らしの中で養われてゆきます。

食の器

両手で包むとあたたかな感触、食材の彩りを邪魔しない和洋の食器にこだわっています。おひつ、飯台、竹や籐のかご等で食事の美味しさを引き立てます。幼児三家になると、それぞれ柄の異なるMY箸とMY茶碗が園より贈呈され、愛着をもって卒園まで大切に使います。



うららの日常会話

「会いたかった」・・・共にいない時は、存在の深さを知り、出会いの喜びを育みます。

「Let's ～しようか」・・・呼びかけは自他の間を見つめ、共に居る愉しさを育みます。

「またね」・・・再び会う事のさりげない約束が明日を信じる力を育みます。



～旬のものを
美味しく頂く食卓～
1日のうち、保育園
では8種類を目安に
旬の野菜を取り入れ
た献立にしていま

障子

障子の反対側に映る人影、反射、そして
息遣い。誰がいるんだな？と気配を感じ
ること。そして、その人が誰かうっすら
と分かること。障子という紙で分けられ
た空間。お互いの空間を尊重し合い、う
ららの空間をそれぞれに分けて共有して
います。障子を破いてしまったら・・・
そこから、長く大事に使う暮らしの知恵
や約束事を学んでゆきます。

アトリエ

絵の具、画用紙、クレヨン、粘
土・・・好きな時に表現活動が出来
るように、環境が整えられていま
す。楽しい気持ちだけでなく、悲し
い、悔しい、怒り等の負の感情を表
現できる場所として存在する、子ど
も達の心の安心基地です。

<年間行事予定>



※ひとりひとりのお誕生日を、その日お祝いします。

※子どもの育ちの節目のお祝いや伝承行事を大切にしています。

4月1日10:30 入園式

※1日が土日の場合は週が明けた日

下旬 こどもの日を祝う会

5月 春のピクニック

(1・2歳児・幼児三家)

第1回 保護者会・クラス懇談会

7月 セタの会・卒園児の会

8月 夏季保育体制

9月 敬老の日を祝う月間

第2回 保護者会・クラス懇談会

10月 秋の遠足(1・2歳児)

11月 秋の遠足(幼児三家)・七五三の会

※緊急時電話連絡・連絡メール送信訓練・

園児引き渡し訓練

12月 「うらな日」(仮称)

もちつき

1月 鏡開き・5歳児シルエット劇場

2月 節分の会・第3回 保護者会・クラス懇談会

3月 ひな祭りの会・卒園式

おわかれティーパーティー

5歳児卒園遠足

◎5歳児冒険の日の日程は、年度ごとに設定

保護者会

年3回、保護者の方にお集まり頂き、お話をする機会をもちます。

開催スタイルや時間など、詳細につきましては後日、お知らせいたします。

「うらな日」(仮称)

親子で楽しむ日です。詳細については、9月の第2回保護者会で説明します。

卒園式

3月の土曜日に、行います。

開催スタイルや時間など、詳細につきましては後日、お知らせいたします。

◎ 月に1回、園便り(栄養・保健・各クラス便りを含む)をアプリメールにて配信しております。

～「問い」概要～

ご覧いただきたい視点は、「問い」としてこの冊子・ばるけの壁面に記してあります。

今回のうらら保育園の「問い」のテーマは、“環境”です。

- すくすく組(0歳児)・のびのび組(1歳児)の「問い」は、2つです。
- いきいき組(2歳児)・幼児三家(3.4.5歳児)の「問い」は、3つです。
- 「問い」の視点から保育をご覧いただき、ご意見・ご助言を冊子添付の付箋にご記入ください。
- 付箋記入には黒のサインペンをご使用ください。
- 付箋は3色を使い分けていただきます。使い分けは、付箋のページをご参照ください。
- 記入した付箋は、ばるけ壁面に掲示してある模造紙に貼ってください。
- 11：45以降 模造紙は一旦移動し、分科会の時に使用します。その後、懇談会の際にホールに貼り出します。



～それぞれの「問い」～



*すくすく組・のびのび組 (0.1 歳児)

暑さが落ち着き、戸外に出る機会が増え、戸外に出ることをとても楽しみにしている子ども達です。裏庭や園庭で遊ぶことが多く、探索や砂場でごっこ遊びを楽しんだり、木の葉やダンゴムシ、アリなどの生き物に触れたりして過ごしていますが、時間が経つと手持ち無沙汰になっているような姿が見られるようになってきました。ボールや砂場玩具、タイヤで山や椅子などを作ったり、戸外の環境を整えています。

「問い」

- ① 裏庭や園庭の環境は十分でしたか。他に整えられる物的環境や遊びが広がっていく素材などがありましたら教えてください。
- ② 子ども達は満足して遊んでいましたか。遊んでいる姿を見て気づいたことがありましたら教えてください。
- ③ 保育士がどのように関わったら、より遊びが広がっていくと思いますか。気づいたことがありましたら教えてください。

最近、室内では、引っ張り玩具で這って遊んだり、積み木・フェルト玩具・ぬいぐるみ・かばんなどを用いておままごとや、パズルや紐通しなどの玩具で遊んでいる子ども達です。しばらくすると玩具に飽きて、室内を走り回ったり、積み木を投げたり、棚に登ったりするなどの姿があります。1学年上野クラスから玩具を借りてきたり、発達に合った玩具の入れ替えや、保育士と一緒に見立て遊びに入ったりしながら関わっていますが…

「問い」

- ① 室内に設定している玩具は、年齢や月齢に適していましたか。遊んでいる様子を見て、気づいたことがあれば教えてください。
- ② 設定している玩具の他に、より子ども達の発達や興味に合った玩具がありましたら教えてください。

＊いきいき組・幼児三家（2歳児・3～5歳児）

【室内環境】

幼児三家の室内にて、普段、3～5歳児までの子ども達が過ごしています。幼児三家保育室内に、0～2歳児が遊びに来ることも頻繁にあります。

TOY 棚にある玩具を使用し、おままごとやごっこあそびをしたり、遊びたい場所に玩具を運び、その場所で遊びが広がっていきます。製作をすることが好きな子ども達は、紙類や色鉛筆、折り紙、廃材などを自由に手に取っていますが、作った作品がそのままになり、持ち主が分からなくなることも多いです。また、異年齢で過ごす環境なので、ハサミやノリ、粘土等は保育士が管理し、子ども達から声をかけられるたびに提供しています。

「問い」

- ① TOY 棚の玩具内容（種類、量など）は十分でしたか。また、より良い玩具の収納方法がありましたら教えてください。
- ② 製作物に関する道具（ハサミ、色鉛筆、紙など）の管理方法や子ども達の使いやすさはいかがでしたか。気づいたことがありましたら教えてください。
- ③ 作品を作ったあとの子ども達に保育士がどのような関わりをすると良いと思いますか。

【アトリエ】

制作活動をする際にアトリエを使用することもあります。落ち着ける空間の中で、アトリエにある素材を使って表現しています。背の高い収納環境なので安全を考慮して保育士と共に過ごすようにしています。

「問い」

- ① 背の高い収納は、どのようにしたらより魅力的かつ安全に使えると思いますか。
- ② 子ども達は、どんな表現活動をしていましたか。またその姿はいかがでしたか。

【園庭】

園庭では、主に 1～5 歳児と一緒に遊んでいます。3～5 歳児は、鬼ごっこや縄跳び、ボール遊びなど思い切り身体を使った活動を行いたい時もあります。一方で 1～5 歳児と一緒に使用しているので、3～5 歳児が思い切り園庭を使いたい時には場所をタイヤで区切って使用したり、1～2 歳児が室内へ入室した後に時間差で使うなどの工夫を行っています。

「問い」

- ① 1～2 歳児と 3～5 歳児と一緒に使う園庭で、それぞれどんな遊びをしていましたか。様子などもお聞かせください。また、遊びが満たされる工夫はどのようにしたらいいと思いますか。
- ② この広さの園庭でできる工夫は、他にどのようなことがありますか。



またね・・・